

OPEN! セルブ 情報

17号

特集

本特集は、セルブ製品を購入できる場所と団体の情報について、発信するコーナーです。

特定非営利活動法人わっばの会

わっばの会では、障害のある、なしの違いを超えた共生社会の実現を目指しています。この度、大曽根商店街に新たに2つの店舗をオープンしました。

● ブリューパブおおぞね BREWPUB OZONE

店内で醸造し、できたてのクラフトビールを味わえるお店をオープン。生パスタランチや自家製ソーセージを使ったわっばンドッグ、自家製酵素ジュースなど、わっばの会で生産した野菜やパンなどを使った、素材にこだわるメニューも提供しています。

わっばの会、代表斎藤さんより「クラフトビールを通じて大曽根の地元を盛り上げ、全国から飲みに来てほしい。また、地元にも愛され気軽に立ち寄りいただけるお店を目指します。」と今後の展望を語っていただきました。

◆ 営業日・時間はホームページ、Instagramで確認して下さい
(電話：052-913-3201)



開放的な店内。奥はクラフトビール醸造所(左と右下)・外観(右上)

● ゆめわっばんおおぞね

わっばの会はパン作りを続けて37年。障がいのある方ない方が一緒に作る、わっば知多農場産完全無農薬、化学肥料不使用の小麦粉「ゆめあかり」だけを使った夢の食パンが完成しました。ゆめあかり特有のたくましい香りがある、小麦のじんわり優しい甘さを味わえる体に優しいパンを販売しています。

◆ 営業日・時間はホームページ、Instagramで確認して下さい
(電話：052-911-5160)



ホームページ Instagram



ショップの外観

その他、お電話での問い合わせは 052-910-1001 (ソーネおおぞね 火曜休) まで

ちいきほっとニュース

第43号



ホームページ



Instagram

発行
北区社会福祉協議会
〒462-0844
北区清水4-17-1
北区在宅サービスセンター内
電話・915-7435
FAX・915-2640



思うは招く

植松努 (植松電機社長)

この言葉は植松さんの著書「空想教室」を読んだ時に会いました。思い続けられそうなるという意味です。短いフレーズながら、自分の夢ややりたいことをあきらめずに抱き続けることの大切さを教えてくれている言葉で、スツと自分の中に入ってきました。



第32回私の好きなことばリレー

北区西部いきいき支援センター
センター長 内山 勝彦 さん

「もしもあの時」なんて酔狂な世界は存在しない
この結果だけが「現実」さ

海軍中将つるが戦いに敗れた七武海
ドフラミンゴへ放った言葉
(漫画「ONE PIECE」より)

コロナ禍で様々な制限を感じ、もし、コロナがなかったらと考えることが……。そんな時、この言葉を思い出し、如何にコロナと向かい合い「ミチココロナ」を実現するかと頭を切り替えると、何事にも前向きになれます。

第33回私の好きなことばリレー

北区社会福祉協議会
次長 伊藤 二三男 さん



今日のわたし ～思い出のマコロン～

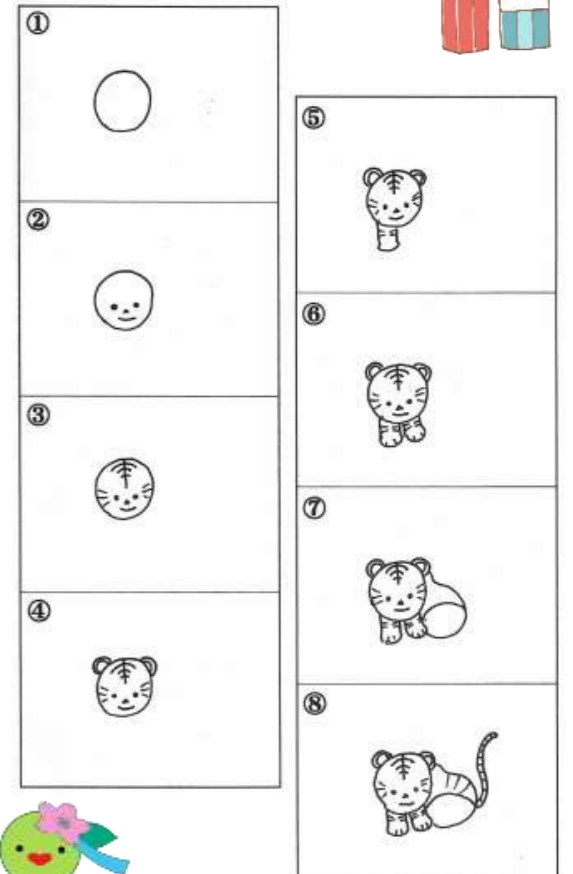
午後、黒川御用水を走ってみる。変わりなし。水も静か、鴨も見かけなかった。帰宅後、久しぶりにイ・ムジチ合奏団のヴィヴァルディ『四季』を聴きながらお茶タイム。なじみの曲で特に私は秋が好き。マコロン※にはコーヒーが合う。ポロポロとやさしい歯ごたえと風味、ピーナッツと砂糖の混じり具合がいい。マコロンの置き場所だった。踏み台に上り母の留守を見計らって盗み食いをした。母は知っていたと思う。
“なつかしや マコロン食めば 時雨くる”
(井上千勢子)

※マコロンとは：落花生、卵、砂糖を主原料とした仙台発祥の焼き菓子



これであなたもお絵かき名人! お絵かき辞典 コーナー ～その12～

自分で絵を描くのが苦手でも、順番に書いていけばステキな絵が完成します。楠学区にお住まいの楠三郎さん(ペンネーム)によるお絵かき辞典です。第12回は、トラです。



子育て広場だけじゃない
まめっこの取り組み



まめっこでは、子育て広場「遊モア」だけでなく、さまざまな事業を運営しています。

名古屋市子ども・子育て支援センター(758 キッズステーション)の運営をはじめ、上飯田児童館、民生委員・児童委員と協働し公園で実施する広場『あおぞら広場』、ひとり親として子育てしている仲間が月一回集まる広場『くれよん』などのさまざまな自主事業を実施しています。

また、コロナ禍でオンラインサロンも始めました。5つの子育て支援団体が連携して実施する子育てサロン『なごや子育てオンライン』は、広場に参加しづらい方だけでなく、里帰り中や引っ越された方など遠方の方とつながりを継続できるようになりました。今年で2年目となる『ワーキングママ・パパのおしゃべりサロン』は職場のこと家庭のことなどをフラットに話せる場所として「子どもを持って働く」「子育てとキャリア」に関心のある人なら、どなたでもご参加いただけます。



ホームページ



Instagram



まめっこスタッフのみなさん

合言葉は親も子も主人公

特定非営利活動法人

子育て支援のNPO まめっこ

北区の子育て支援のNPO まめっこ(以下まめっこ)は、10月4日、清水学区に子育て応援拠点「遊モア柳原」をオープンしました。以前から北区で3つの地域子育て支援拠点、名古屋市いこいの家事業など子育てに関する様々な事業を展開しているまめっこ。支援拠点と応援拠点の違いや広場について理事長の中井さんにお話を伺いました。

子育て応援拠点とは？

まめっこは、柳原通商店街にあった地域子育て支援拠点を徒歩2分の場所に移転し、北区子育て応援拠点を開設しました。地域子育て支援拠点では概ね3歳未満のお子さんやパパ、ママ、妊婦さんなどが気軽に親子交流できる広場、子育て相談、親子で楽しむ講座やイベントなどを実施していました。応援拠点として生まれ変わった「遊モア柳原」では、既存事業に加え、3歳児までのお子さんの一時預かりを月3回まで利用いただけるようになりました。

「遊モアで一時預かりができることは、パパ、ママにとつて通いなれた場所に預けることができるという点。お子さんも親御さんも安心して預けていただけるので、と中井さん。預ける前に広場を利用し、一時預かりの様子を目にする中で、わが子の一時預かりのイメージもできそうです。また、名古屋市で行っているリフレッシュ保育(一時預かり。月3回まで)とは別に利用ができません。

念願の子育て応援拠点

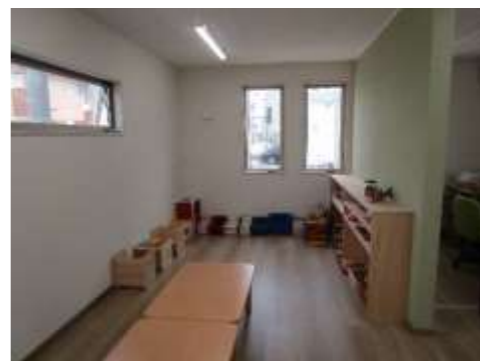
3年前から始まった応援拠点に名乗りをあげることができたのは、北区ではまめっこのみ。しかし、応援拠点の条件をクリアする物件がなかなか見つからず行き詰っていたそうです。そんな時、長年まめっこを応援してくださる地域の方が土地の提供と拠点の建設を助けてくださった事が開設への大きな後押しとなったそうです。「柳原通商店街で子育て広場を始め、運営を続けられました。今回も地域の方々の温かいご支援あつての応援拠点オープンです。」

ママと子どもだけでなく…

遊モアでは近年、育休中のパパなどの利用が増えていることから『パパエルカムデイ』を設けるなどパパが利用しやすくなるよう工夫されているそうです。また、広場は帰省中の方など市外の方も利用ができ、祖父母など様々な世代のみなさんの利用を歓迎しています。今後の目標は、妊婦さんの利用促進。「子育てが初めてのママは誰を頼りにしていいかわからない、どの保育園に預けたらいいのかわからない、どこに子どもの病院があるのかなど、わからないことや不安でいっぱい。生まれる前にぜひ遊びに来てください。」



まめっこスタッフ
遊モア+(プラス)のみなさん。



『遊モア柳原』の様子

棚や机などの角が丸くなっていたり、災害時に避難できるスペースを設けたりと、子育て経験のあるスタッフがさまざまなアイデアを持ち寄り、こどもが安心して過ごせるための工夫をこらしました。

遊モア柳原

北区子育て応援拠点

北区柳原 4-5-11
電話&FAX
(052) 908-1841
月~水・金・土
9:30~15:30



遊モア平安通

地域子育て支援拠点

北区若葉通 3-18-1
第三大曾根ビル 1F 南号室
電話&FAX
(052) 914-2792
月~水・木(通常第2、4、5)
金・土(通常第1、3)
9:30~14:30



遊モアあじま(遊モア+)

プラス



地域子育て支援拠点/名古屋市いこいの家事業(遊モア+)

北区楠味鏡 3-407
ホワイトハウス 2F
電話&FAX
(052) 902-5557
月~水・木(遊モア+)・金・土
9:30~14:30



758 キッズステーション

名古屋市子ども・子育て支援センター

中区栄 3-18-1
ナディアパークビジネスセンタービル 6F
電話 (052) 262-2372
10:30~17:30
(休館日 祝日・年末年始等)

